

会 議 録				
平成 19 年度第5回 社会教育委員の会議	日 時	平成 19 年 9 月 26 日(火) 午後2時 00 分～4 時 00 分	場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出席者	委員	井土、伊藤、浦野、小林、武田、田尻、田中、彦坂、本川各委員 (欠席) 倉持委員		
	その他	石川生涯学習部長、伊藤生涯学習課長、林スポーツ振興課長、田中図書館長、中嶋公民館長		
	事務局	木村生涯学習係主事、		
傍聴の可否	◎可・一部不可・不可		傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
<p>1 第 2 4 期小金井市社会教育委員委嘱状伝達式</p> <p>(1) 委嘱状伝達</p> <p>(2) 教育長あいさつ</p> <p>(3) 委員紹介</p> <p>(4) 事務局紹介</p> <p>(5) 正副議長選出</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 平成 1 9 年度関東甲信越静社会教育研究大会の報告について</p> <p>(2) 提言の引継ぎについて</p> <p>(3) 林間学校における食中毒事故について</p> <p>(4) 「小金井市公民館の基本方針づくりの討議のために」について</p> <p>(5) その他</p> <p>3 協議事項</p> <p>(1) 図書館協議会委員の選出について</p> <p>(2) 管外視察研修について</p> <p>(3) その他</p>				
<p>1. 第 2 4 期小金井市社会教育委員委嘱状伝達式</p> <p>(1) 委嘱状伝達</p> <p>谷垣教育長が、議会に出席中のため、石川生涯学習部長から委嘱状の伝達がされた。 任期は平成 1 9 年 9 月 9 日から平成 2 1 年 9 月 8 日まで。</p> <p>(2) 教育長挨拶</p> <p>教育長が議会に出席中のため割愛。</p>				

### (3) 委員紹介

[各委員より自己紹介がされた。]

(井土委員)

小金井市文化連盟からの推薦で、今年は社会教育委員5年目になります。あまり慣れませんが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。

(伊藤委員)

今回、初めて社会教育委員に就任したため、社会教育委員とは何をするのか分からず戸惑う部分もあるが、市民の役に立ちたいと思っているのでよろしくお願いいたします。

(浦野委員)

小金井市小中学校PTA連合会からの推薦で参りました。どうぞよろしくお願いいたします。

(小林委員)

2年間お世話になります。一生懸命務めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(武田委員)

前回のPTAからの推薦に引き続き、またもう一期務めさせていただきます。未熟ではありますが、皆さんの指導を仰ぎながら頑張りたいと思っております。

(田尻委員)

小金井第4小学校の校長をしており、校長会の代表で社会教育委員を務めさせていただきます。4月から引き続きになりますがよろしくお願いいたします。

(田中委員)

小金井市体育協会からの推薦を受け、社会教育委員となりました。農工大学でスポーツ健康科学の指導を担当しています。皆さんと力を合わせていきたいと思っております。

(彦坂委員)

2期目となるが、今期は野川ほたる村からの団体推薦で委員となった。自然保護を中心とした子どもの教育をしているので、そのような面でも役に立てればと思う。

(本川委員)

国際ソロプチミスト東京一小金井からの団体推薦で委員となった。前期の藤川委員に引き続き社会教育委員を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

### (4) 事務局紹介

石川生涯学習部長・伊藤生涯学習課長・林スポーツ振興課長・田中図書館長・中嶋公民館長・中島生涯学習係主査・木村生涯学習係主事の紹介があった。

### (5) 正副議長選出

彦坂委員からの推薦で田中委員が議長に、井土委員が副議長に選出され、了承された。

(田中議長)

今後、皆さんからも意見を出していただき、この第24期社会教育委員の会議を実りのあるものにしていければよいと思いますのでよろしくお願いします。

(井土副議長)

皆様のお力をお借りしながら、議長を支えていければと思いますのでよろしくお願いします。

[事務局から、生涯学習部の概要について説明があった。]

(石川生涯学習部長)

小金井市教育委員会は平成19年度より学校教育部と生涯学習部の2部制をとっており、2部で協力して教育行政の推進を図っている。冊子「小金井の教育」の43ページから生涯学習部門の実績等が記載されている。2年に一度の発行となっているため、平成18年度までの実績しか掲載されていないが、19年度も新しいものを取り入れながら大きく7項目の目標をたてている。一つ目に生涯学習の推進。特に団塊の世代や2007年問題への対応を重点に置いた施策を展開したい。二つ目に青少年教育の推進。地域ぐるみで子ども達の安全な居場所を確保することを目的として、放課後子どもプラン等を推進させたい。三つ目に体育・スポーツ・レクリエーション活動の推進。市民の健康を充実させていきたいということでスポーツ振興課が中心となっている。四つ目に文化活動の推進。生涯学習課の中で、文化財係を中心として市の文化財センターを拠点としながら文化財の調査・保存等を行っている。特に来年度は市制50周年記念ということもあり、小金井市史の資料編として「小金井桜」の刊行を中心に事業を進めていく。五つ目に公民館活動の充実。異世代間交流や団塊の世代が地域へ出て来るきっかけの場としていきたい。六つ目に図書館活動の充実。情報を得る場所・発信する場所として充実させたい。最後に、社会教育施設の整備。図書館や公民館等の社会教育施設の設備の充実を図りたい。

## 2. 報告事項

(1) 平成19年度関東甲信越静社会教育研究大会の報告について

(田中議長)

平成19年度関東甲信越静社会教育研究大会が9月13日から14日にかけて静岡県熱海市で開催され、小金井市からは田中・井土・彦坂各委員が参加した。13日は基調講演が行われた後、分科会、交流会が行われ、14日は記念講演と大会アピールがあった。参加人数は約800人。基調講演は茨城大学生涯学習教育研究センターの長谷川幸介准教授の「生涯学習の新しい戦略と社会教育委員の役割」。内容は、現在の社会は「職（金銭を儲ける手段）」の世界と「役（役割）」の世界があり、お金や数値と

いう価値判断がはっきりしている「職」の世界を中心に進んできているというもので、これまでは「職」の世界を中心に進んできており、見える物差しだけで測ってしまうことで様々な摩擦が起こっているのです。これからの社会教育分野では、「役」の部分を重視した教育を実践して欲しい、といったものだった。非常にわかり易く勉強になる内容であった。その後6つの分科会に分かれたので、分科会については彦坂委員から、記念講演については井土委員から報告をお願いしたい。

(彦坂委員)

「身の回りの環境問題（身近な問題から地域の問題）」という分科会に参加し、神奈川県自然環境保護等の話を聞いた。私の参加する団体も「ほたるは自分たちの生きている指標」であると考えて活動してきたので、非常に通じるところがあると感じた。

(井土委員)

(財)日本科学技術振興財団会長・武蔵学園長（元文部大臣）の有馬朗人氏による「日本の教育の優れている点と問題点」という内容の記念講演が行われた。日本の教育は優れており進学力も高いが、理科の時間が少ない、学生のリテラシーの低下がみられる。将来への希望や倫理観の低下と、それに伴う体力・運動力の低下も問題となってくる。日本の教育は優れているのに、教育費は世界最低であるので、倫理観・社会観をしっかりと養わせるためにも、国がもっと教育費を出さなければいけないという内容だった。

(田中委員)

他市の方との交流もでき、大変勉強になった。来年度の関東甲信越静は長野で開催される。

## (2) 提言の引継ぎについて

(伊藤生涯学習課長)

23期の社会教育委員に「小金井市地域教育会議—市民が提案する設立と運営への指針（提言）—」をまとめていただいた。地域教育会議の先進市でもある川崎市への視察なども行いながらまとめた提言である。地域で子どもたちを見ていき、地域の教育力を如何にして高めていくかということが、将来へ向けて取り組んでいかなければならない課題であると認識し、この提言を受け止めている。

(田中議長)

地域教育会議という名前ではあるが、「会議」が「会議」だけで終わってしまうことのないように、という思いで提言を作成してきた。関東甲信越静社会教育研究大会で、川崎市の方からも「地域教育会議という捕らえ方が、時間と共に変わってきてしまい、地域によって温度差が生まれる。会議という言葉に囚われず、コーディネーターを担うようやってほしい」というアドバイスをもらった。

## (3) 林間学校における食中毒事故について

(伊藤生涯学習課)

市立第二小学校の林間学校において食中毒事故が発生した。林間学校の日程は8月17日から20日までの間で、宿泊先は小金井市立清里山荘。参加者は児童64人、引率者10人、写真業者1人の合計75人。発症期間は8月の20日から24日までで、林間学校から帰宅してから発症し、下痢・発熱等の症状があった。児童16人、教員1人に症状があらわれ、10人が医療機関で受診したうち3人から、また保健所の検査で5人の合計8人からカンピロバクター菌が発見された。経過は、8月23日に第二小学校副校長に保護者から児童が体調不良で医療機関を受診した旨連絡があった。学校から林間学校参加者に対し調査を開始し、状況確認を行った。8月25日に医療機関から学校へカンピロバクター菌が発見されたとの報告が入り、学校から連絡網で各家庭へ連絡。26日には山梨県保健所峡北支所及び東京都府中保健所へ連絡し、調査を開始した。8月28日からは清里山荘での飲食物の提供を自粛した。9月4日に峡北保健所から、検査の結果清里山荘の調理器具・施設・職員・検食からは菌は検出されなかったが、発症者の共通食から判断し、清里山荘を原因施設とする食中毒と断定された。9月4日から6日まで3日間の営業停止措置がとられ、念のため消毒等を行った。事業者には原因の究明と対策、一層の衛生安全確保の申し入れを行った。

(武田委員)

小学校の林間学校が続く時期だと思うが、次に清里に行く予定だった学校の宿泊等に影響はなかったのか。

(伊藤生涯学習課長)

続けて第三小学校が林間学校に行っているが、発症の報告以前に林間学校が終了しており、特にその前後での事故等はない。また、第二小学校の生徒と同時期に宿泊していた一般客6人についても体調不良等の報告は受けていない。

(田尻委員)

学校でも行事前の一週間についてはカード等を利用して体温や睡眠時間等健康管理をしており、行事終了後も一定のチェックは行っているところであるが、今後は行事終了後一週間の健康観察を一層徹底したい。

(石川生涯学習部長)

問題点を精査し、今後も業者と綿密な打合せ等を行いながら、万全を期したい。

(4)「小金井市公民館の基本方針づくりの討議のために」について

(中嶋公民館長)

平成19年7月27日、第20回公民館運営審議会で、公民館運営審議会委員・企画実行委員・職員の三者が共同して小金井市公民館としての基本方針を策定するための討議素材が示された。これは館長諮問による答申ではなく、諸般の事情から三者で基本方針を策定することが困難であったため、第27期から第28期の公民館運営審議会が、実質約1年半にわたり審議をしてきたものである。公民館はこれまで教育委

員会が定める「学校教育及び社会教育の重点施策について」の中の「教育行政の基本方針」、「学校教育と社会教育の目標ならびに重点」の方針に基づき取り組んできた。今後、公民館各館の企画実行委員、第29期公民館運営審議会委員、職員と検討していきたい。

(5) その他

・平成19年第3回定例会について

(石川生涯学習部長)

現在、平成19年第3回定例会が開催されている。9月議会は決算と併せて行われており、10月4日の最終本会議を以って閉会する予定。生涯学習関連の一般質問については、高木議員から「市営グラウンド少年用サッカーゴールポストについて」、五十嵐議員から「図書館の充実のために」、水上議員から「放課後子どもプランの充実と総合的な放課後対策を求める」、渡辺議員から「図書館改革に向け市長は動くべきだ」という内容の質問がされた。

(浦野委員)

図書館の学習室の利用率はどのような状況なのか。

(田中図書館長)

午前10時から午後5時までの間、火・水・木を団体利用、金・土・日・祝日を一般利用として貸し出しており、団体利用に関してはほぼ利用されている。一般利用については、30人が着席可能ではあるが、利用者数は最大でも15人程度で推移している。今後更に利用を高めるようにしていきたい。

(浦野委員)

放課後子どもプランについて、まずは本町小学校をモデル校として実施すると聞いているが、これが成功して軌道に乗った際は、ぜひ他の学校にも紹介する機会を設けて欲しい。

(石川生涯学習部長)

まずは本町小学校を中心に事業を展開し、段階を踏んで広めていきたい。

(伊藤委員)

「小金井市地域教育会議—市民が提案する設立と運営への指針（提言）—」にも放課後子ども教室や児童館のことが記載されており、公民館等でも子ども向けの事業等を行っていると思うが、地域の力というのは分散したほうが良いのか、一本化したほうが良いのか。一本化したほうが総合力として地域の力を発揮できるのではないかと思うがどうか。

(石川生涯学習部長)

子ども施策については福祉部局と教育部局が連携をとりながら事業展開しているところである。また、行政だけでなく地域の中でも様々な団体が熱心に取り組んでいる。いかに子どもたちを安全・安心な環境の中で育み、見守れるかが重要であり、様々な

施策を展開する中で多くの参画を促している。あまりにも多くの施策が溢れると子どもも飽和状態になってしまうかと思うが、いかに充実した育成が図れるかを考えながらやっていきたい。

(田中議長)

地域教育会議についての提言は、行政や各団体がそれぞれ子どものために行っている事業をうまく結びつけるために情報を収集して発信しコーディネートすることを目的として作成されている。これからはこれをどう動かして実現させていくかが課題。

(本川委員)

9月9日に学芸大学において2007青少年のための科学の祭典東京大会 in 小金井を開催した。実行委員会形式で運営したので、様々な団体の関係者が集まり実施した。市内の教育機関・中学校・企業等がブースを出展し、中学生ボランティアや商工会、市民団体、行政も参加した。いろいろな方の力を借りながら連携することができた。科学を通じて子どもたちに良い実体験をして欲しい、小金井を元気にしていきたい、というそれぞれの思いが一致した。広く連携をとって1つの事業を成し遂げるという点で参考になればと思う。

- ・小金井市公民館運営審議会委員名簿の配布について

(中嶋公民館長)

公民館運営審議会委員の名簿を本日配付した。任期は平成19年9月9日から平成21年9月8日までの2年間で、9月18日(火)に第29期公民館運営審議会第1回を開催し、委嘱状伝達式の後、正・副委員長を互選により、委員長は2期目の大橋元明委員、副委員長は3期目の田頭祐子委員に決定した。

- ・第48回関東甲信越静公民館研究大会について

(中嶋公民館長)

「第48階関東甲信越静公民館研究大会」は、栃木県宇都宮市にて「第30回全国公民館研究集会」と同時開催される。平成19年10月11日(木)午前10時20分より分科会、12日(金)午前9時より全体会を予定し、第1回公民館運営審議会出席委員等を決定した。次回の社会教育委員の会議で結果報告をしたい。

### 3. 協議事項

- (1) 図書館協議会委員の選出について

(田中図書館長)

図書館長の諮問機関である図書館協議会の第10期図書館協議会委員に社会教育委員から1人推薦していただきたい。任期は平成19年11月1日から平成21年10月31日までの2年間となる。

[推薦により浦野委員が図書館協議会委員に決定した。]

(2) 管外視察研修について

(伊藤生涯学習課長)

例年、社会教育委員の管外視察研修を年1回行っている。今年度については現時点で行き先は未定となっているが、希望があれば言って欲しい。事務局としては、提言の中に最終目標として掲げられている生涯学習センターの制度・建物等を見られると良いのではないかと考えている。羽村市に「ゆとろぎ」という新しい生涯学習センターがあるがどうか。

(彦坂委員)

以前「ゆとろぎ」に行ったことがあるが、非常に立派な施設なので、小金井市にとっても良い見本となるのではないか。

[19年度の管外視察研修の行き先は羽村市の生涯学習センター「ゆとろぎ」に決定した。視察日は各委員の日程調整の結果11月21日(水)に決定。]

(伊藤生涯学習課長)

「ゆとろぎ」は月曜日が休館日となるため、当初の視察予定日の11月26日(月)から日程を変更し、11月21日(水)を視察日とする。なお、11月の社会教育委員の会議は21日の視察を以って代えるため、11月26日は定例会の開催なし。

(3) その他

(武田委員)

次回の会議が所用により午後2時から開始だと後半しか参加できないので、皆様のご都合が付けば、次回のみ変則的に会議時間を15時30分から17時30分に調整していただけるとありがたい。

[各委員から了承され、第6回社会教育委員の会議は10月22日(月)午後3時30分から開催されることになった。]

(小林委員)

小委員会というのはどういった開催スケジュールになるのか。

(伊藤生涯学習課長)

例年、年に5回5人程度の小委員会委員により開催している。19年度においては提言作成のためすでに実施済みなので、9月から3月までの間に小委員会を開催する予定はない。来年度については、生涯学習推進計画の見直しの時期を迎えるため、社会教育委員に改訂をお願いしたい。来年度の小委員会の中で推進計画の見直しを行っていただきたいので、全委員分が小委員会に参加できるよう予算措置を考えたい。回数についても7回程度実施できるようにしたい。

以上